

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

F-FACT

ファクト > Fukui advanced companies' try

【特集】 なんとかしても窮地を生き抜く！
～withコロナの企業戦略～



Vol. 42

なんとしても

窮地を生き抜く!

～ withコロナの企業戦略～

新型コロナウイルス感染症（以下、コロナとする）感染拡大の影響から、「3密（密集、密接、密閉）」の回避や、「身体的距離の確保」「マスクの着用」「手洗い」をはじめとした基本的な感染症対策の継続を余儀なくされ、出来るだけ外出を避けたり、テレワークやオンライン会議を導入したりと今までの生活様式が変化してきています。今後さらに変化が予想される消費活動・経済活動に対して、経営者としてどのような戦略を立てればよいかを事例と共に紹介します。

CASE 1

コロナ禍が「業務改善の種」 実行の契機に



代表取締役 横井康孝氏

ユニフォームネクスト株式会社

福井市に本社を置き、飲食店向けや医療業界向けなどのユニフォーム企画・販売を展開するユニフォームネクスト株式会社。コロナ禍で世の中の経済・生活様式が激変する中、同社は事業継続のためにテレワークなどさまざまな取り組みを実施。取り組みを通じて得た「withコロナ」時代の心構えについて、代表取締役の横井康孝氏に伺いました。

ユニフォームネクスト株式会社

<https://uniformnext.co.jp/>

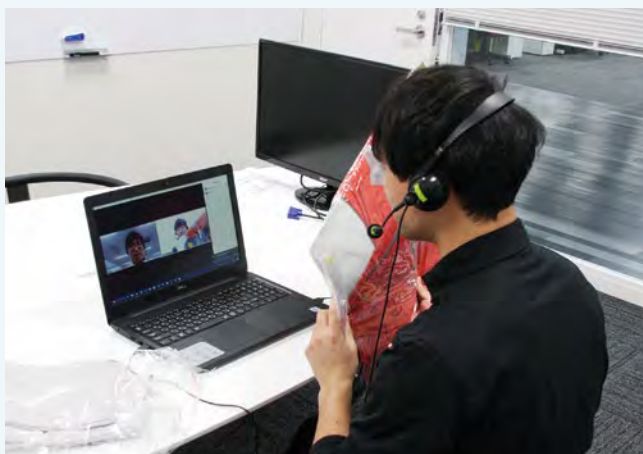
所在地: 福井市八重巻町25-81
代表者: 横井 康孝氏
事業内容: ECを中心にした、企業・店舗・個人向けユニフォーム販売
TEL 0776-43-1034

同社がテレワーク制度を導入したのは3月下旬のこと。もともとEC（電子商取引）を軸にした営業展開を行っていたことから、マーケティングやウェブシステムの構築など在宅でも支障なく勤務できる部門から徐々に移行を始めました。2017年7月に東証マザーズに上場した同社はコンプライアンスの観点から厳格な情報管理が求められており、テレワークに当たっては本社オフィス内のPCを直接遠隔操作する「リモートデスクトップ」を使い通信の機

リモートデスクトップ利用で在宅勤務の情報機密性を確保

Contents

- 1 なんとしても窮地を生き抜く！
～ withコロナの企業戦略～
【企業事例①】ユニフォームネクスト(株)
- 3 【企業事例②～⑨】味ごよみ晴天・めん房丸仁・御菓子処伊勢屋・スナックHaru・伊藤瑞貴建築設計事務所・(有)あんしん村グループ・クロカワ自動車(株)・(株)キッソオ
- 7 福井県内で作られたマスクの一例
- 8 国や福井県の補助金や相談対応など
- 11 よろず支援拠点成果 相談ノート
- 12 Start a New Project
- 13 今月の注目企業 サカセ・アドテック(株)
- 15 こんにちは。FOIPです。
- 16 グッドデザインシンキング
- 17 総合相談
- 18 ふくいAIビジネス・オープンラボ
- 19 インフォメーション
- 21 新スポット巡礼他



(上)オンラインプレゼンの様子
(下)本社外観

密性を確保しました。

テレワーク導入に当たり、「業務だけでなく自己研鑽にもつなげてもらえれば」と社員1人につき3万円のIT機器購入補助金を支給しました。機器をあえて会社支給としなかったのは、「購入機器を検討するというプロセスを通して、社員各自のITリテラシーを向上するという狙いがあった」という理由からでした。

もともと物流や加工などの部門はテレワークというわけにいかず、社員の出入口を分

けるなど感染防止対策を行いました。横井氏は「社屋内は1階が物流部門、2階がオフィスと加工部門という配置になっています。緊急事態宣言が出ている間は1階と2階との往来を無くすようにしたので、互いの姿を見かける機会がいつときグッと減ったのでは」と振り返ります。

ウェブ会議での商談が日常に 同社ならではの活用術も蓄積

同社発表の速報値によると、今年3月・4月の売上高

は前年比でそれぞれ85・3%、86・9%。数字上での落ち込みは見られるものの、コロナ禍がもたらしたのはマイナスのことばかりではなかったと強調します。

「テレワーク併用でも事業を継続できることが分かったのが大きいですね。通勤にかかる時間が短縮される分、自宅の方が生産性上がるという声もありました。現時点でテレワークの常時運用は行っていないませんが、社員増で本社オフィスの収容能力に限りが見えてきたら在宅と出勤の併用も検討したい。本社オフィスをフリーアドレスにするなどの見直しも行うことになるでしょう」。

現在の従業員は約100人で、ECに約30人、直接訪問による販売に約10人が携わっています。横井氏は「ユニフォームを使う業界は幅広い」と直接訪問による大口顧客の取引増に期待を寄せ、県外事業者との商談にもテレワークで得た知見を活用していくとのこと。

「今回のコロナ禍を機にウェブ会議を使うのがごく当たり前になりました。外出自粛が要請されていた期間だったからこそお客さまからウェブ会議導入の理解もいただけました。飲食店の店内画像をバーチャル背景にして着用イメージを説明するなど、オンラインプレゼンのノウハウも蓄積することができましたね」。

社員教育の在り方にも 変革もたらしたコロナ禍

ウェブ会議アプリの録画機能が社員教育に役立っているとも。「新人研修の一環として、先輩の商談に同行するという手法がよく採られます。当社もこの手法を続けていたのですが、同行ではインプット中心になるという課題がありました。コミュニケーション力向上にはアウトプットの回数が必要。録画された商談の様子を見ながらロールプレイングすればアウトプットの経験を積むことができます」。昨年来、社員教育の見直しを考えていたという横井氏にとって、ウェブ会議の

本格導入が追い風になった形です。

この春のコロナ禍は、今年で設立26年となる同社にとってさまざまな「プラスの変革」をもたらしました。「物事にじっくり取り組める時間ができたことで、日頃感じていた『改善の種』を実行に移すことができました」。ウィズ・コロナの時代には「コロナ禍の長期化にも耐えられるような経営基盤が鍵になる」とした上で、「長期的な戦略に基づき、継続的に利益を上げられる体制づくりを強化していきたい」と表情を引き締めます。



毎年経営計画書を全社員に配布している

CASE 2

居酒屋の場合

味ごよみ晴天

福井市成和2丁目にある「味ごよみ晴天」
店主の毛利直晴さんにお話を伺いました。



代表 毛利直晴氏

<https://www.facebook.com/149217198445336/>

所在地：福井市成和2丁目113-2

代表者：毛利直晴氏

電話番号：0776-28-1184

事業内容：和食居酒屋

夫婦で経営する居酒屋

今年で17年目に入る同店は和食居酒屋で、産地直送の新鮮な魚を使った料理が有名です。

コロナの影響

同店が受けた大きな影響としては、予約が軒並みキャンセルになり、予定していた収益が見込めず、固定費などの支払いができなかったことが挙げられます。「2月に店舗改装が終わったところからこれから頑張っていこうと思っていたところでした」と毛利さんは当時を振り返ります。

そこで、「小規模事業者テイクアウト・デリバリー参入促進事業助成金」を活用するなどして、予約制の弁当テイクアウト事業に着手。常連客を含む地域の客などから注文が入り、朝から



テイクアウト用のお弁当

晩まで弁当を作った日もあったそうで、今後も続けていくそうです。

今後の心構え

今回の事態を受け「常連客の皆さんや地域のお客様のありがたみを改めて感じました」と毛利さん。営業自粛中には再開を待つ客の声が多数寄せられたそうです。「今までもこれからもお客様を大切にしていきたいと強く思いました」と締めくくりました。

CASE 3

そば屋の場合

めん房丸仁(まるに)

敦賀市相生町にある「めん房丸仁」店主の
中村久仁治さんにお話を伺いました。



店主 中村久仁治氏

http://www.l.rcn.ne.jp/~maruni_soba/index.htm

所在地：敦賀市相生町21-1

代表者：中村久仁治氏

電話番号：0770-22-0367

事業内容：定食屋

約90年の伝統

同店は1931(昭和6)年に創業。地元で愛され、おろしそばとソースかつ井のセットが看板メニューの昔ながらの定食屋です。

コロナの影響

同店が受けた大きな影響について中村さんは「せっかく来てくださるお客様のために営業を続けておりましたが、周りが営業を自粛する中でこのまま営業を続けていいのかという葛藤が毎日続いたことが一番大きいですね。店で働いて40年以上経ちますが、初めての経験でした。1日にお客様が1人も来なかった日があったのも初めてでしたね」と振り返ります。

そんな中、敦賀市の「テイクアウト・デリバリーサービス等参入応援補助金」

今後の心構え

などを利用して以前から行っていたテイクアウト事業に本格的に着手しました。短いことが問題だった商品の賞味期限を延ばすことができたそうです。

今回の事態を受け「思いがけない形ではありましたが、北陸新幹線敦賀延伸に伴う観光客の増加を見越した準備を進めることができました。今後このような窮地に立たされたとしても老舗らしくどつしり構えていたいと思います」と前向きに話してくれました。



真空包装が可能となったテイクアウト用のそば。賞味期限を7日以上に延ばすことができました。

創業190周年目の和菓子屋

天保元（1830）年に創業した同社は、小浜市の名水から作るくずまんじゅう、丁稚ようかんで有名なお店です。

コロナの影響

同社が受けた影響としては、例年書き入れ時であった4月の売上が激減したことです。「自分たちもそうですが、コロナ禍で気分が下がりがり気味でした。でもお菓子には人を笑顔にする力があるからどうにかして食べてもらいたかったです」と上田さんは思いを語ります。

そこで、全国に広くつながりのある上田さんは、県外の和菓子店3店と連携し、各地の銘菓を詰め合わせた「旅する和菓子」プロジェクトに参加。「外出の自粛で旅行ができないが、各地の

お菓子を食べてちょっとでも旅行した気分になってほしい」と話します。限定50セット用意したところ、完売したそうです。

今後の心構え

今回の事態に対して上田さんは、「損害は受けましたが、コロナ禍だからこそ得られるものがあるのではと前向きに思っています。今回では新しい売り方を得られましたね。これからも前向きに、どうにかなる精神でいたいです」と語ってくれました。さらにネット販売の準備をしているそうです。



岩手、埼玉、福井、岡山の銘菓を味わえます。

CASE 4

和菓子店 の場合

御菓子処伊勢屋

小浜市一番町にある「御菓子処伊勢屋」6代目の上田浩人さんにお話を伺いました。



6代目 上田浩人氏

<https://obama-iseya.com/>

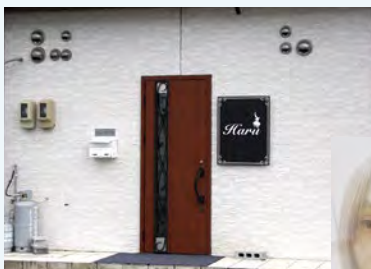
所在地：小浜市一番町1-6
代表者：上田浩人氏
電話番号：0770-52-0766
事業内容：和菓子製造・販売

CASE 5

スナック の場合

スナックHaru

鯖江市三六町にある「スナックHaru」店主の竹内依里さんにお話を伺いました。



店主 竹内依里氏

<https://haru0404.thebase.in/>

所在地：鯖江市三六町1丁目14-6
代表者：竹内依里氏
電話番号：0778-43-5537
事業内容：スナック

新たな一歩を踏み出す

今年で4年目になる同店は、年々リピーターが増加し、6月19日に店舗拡大のためリニューアルオープンを果たしました。

コロナの影響

「休業したのは4月のオープン準備の真っ最中だったのでタイミングが最悪でした。まず従業員の給料をどうしようという事が一番頭に浮かびました」と竹内さんは当時を語ります。

少しでも給料を出すために考案したのが「オンラインスナック」です。ビデオ通話アプリ「ZOOM」を使い、時間を指定して女性従業員と会話が楽しめるというシステムです。「収入が見込めない状況下で少しでも従業員が働ける環境を作りたいと強く思い、

『話をする場』というスナックの原点に返って考案しました」と竹内さんは当時を振り返ります。普段は来店が少ない県外客からの申し込みもあったといいます。

今後の心構え

今回の事態に対し、「業界全体で大きな損害を受けていますが、この機にほかのお店と協力してみんなで業界を盛り上げようという動きが大きくなっています。私たちもその力になれたらと思います」と竹内さんは目を輝かせます。



場所を問わず従業員との会話が楽しめます。

確かな信頼と実績

住宅やクリニックやオフィスの設計を手掛ける同社は「2017グッドデザイン賞」や「ふくい建築賞2018最優秀賞」を受賞するなど、確かな実績がある建築設計事務所です。

コロナの影響

4月5日に一旦事務所を閉め、リモートでの営業に切り替えた同社。建築の相談件数は激減、予定していた内覧会も中止にせざるを得ませんでした。思うように通常営業ができない中、試みたのが業務のオンライン化です。「やるならオンラインツールを使わざるをえないこのタイミングだと思いました。今まで対面でやってきた建築相談会や内覧会や現場監理をオンライン化し、業務の効率化を行いました。やつ

今後の心構え

「今回のような不測の事態は私たちのワークスタイルを見直すチャンスだと思っています。周りの状況に左右されず、柔軟に仕事ができる環境を整えていこうと思います」と伊藤さんは今後について語ってくれました。

「今回と意外とたくさんさんの効率化ができることが見つかりました」と伊藤さんは手ごたえを語ります。現場の巡回や遠方の顧客が多かったため、時間と移動費の節約になったそうです。



画面をタッチして建物の内部を見ることができます。

CASE 6

建築設計の場合

伊藤瑞貴建築設計事務所

坂井市春江町にある「伊藤瑞貴建築設計事務所」の伊藤瑞貴さんにお話を伺いました。



代表 伊藤瑞貴氏

<http://miaaa.biz/>

所在地：坂井市春江町千歩寺6-46-1

代表者：伊藤瑞貴氏

電話番号：0776-51-0993

事業内容：住宅・クリニック・オフィスなどの建築計画・設計・監理

CASE 7

老人ホームの場合

有限会社あんしん村グループ

福井市北四ツ居にある「有限会社あんしん村グループ」代表取締役の林智之さんにお話を伺いました。



代表取締役 林智之氏

<http://ansinmura.jp/>

所在地：福井市北四ツ居2丁目7-17

代表者：林 智之氏

電話番号：0776-54-2931 事業内容：有料老人ホーム

地域にとけこむ「あんしん村」

介護付き有料老人ホームを営む同社は今年で15周年を迎えます。地域密着型で来所しやすく、介護レベルが最も重い人でも受け入れ、最期まで寄り添うのが同社の基本方針です。

コロナの影響

同社が受けた大きな影響は「入居者が人と話が来ない」ことです。今まで頻繁にあった家族との面会はもちろん、デイサービスに通うなどの外出はすべて禁止。入居者は人と話せないストレスを抱えていました。そこで取り入れたのが「オンライン面会」です。ビデオ通話アプリ「ZOOM」を使った新しい面会です。「接触なく面会ができるのと、県外在住のご家族など普段会えなかった人の顔も見ることができ

今後の心構え

「今回のような不測の事態に対して林社長は「冷静に状況を把握することとそれを共有することが大切だ」と思いますが、把握するスピード感も大切ですね」と心構えを話してくれました。

その対応の早さから、今のところ大きな大きな損害は出ていないそうです。



家族と通話する入居者。嬉しそうに話していました。

車のことならクロカワへ

自動車販売・整備の同社は福井県に3店舗を構えています。それぞれ赤を基調とした店舗に数百台もの展示車がずらりと並んでいるのが印象的です。

コロナの影響

同社が受けた影響は、外出自粛で来客が少なくなり、車の販売が思うようにできなかったことです。中には現物を見ずに購入するケースもあったそうですが、トラブルの可能性がぬぐいきれないものでした。

そこで考案したのが「オンラインショールーム」です。以前から情報発信のために使用していた「LINE」の「ビデオ通話機能」を使い、現物を見せるシステムです。「お客様が見たい部分をリアルタイムで見せられる

た。第2波などの今後について語ってくれました。



リアルタイムで見たいところを見ることができます。

今後の心構え

「常に予測することが大事だと思っています。今回、マスク不足に関しては予測ができたためマスクに悩むことはなかったです。普段から過剰なほど危機管理を行っているので、会社存続と地域貢献のために継続していきたいです」と

CASE 8

自動車販売店の場合

クロカワ自動車株式会社

福井市大宮にある「クロカワ自動車株式会社」の黒川純希さんにお話を伺いました。



黒川純希氏

<https://www.kurocar.com/>

所在地：福井市大宮6丁目13-13（大宮店）
代表者：黒川二三夫氏
電話番号：0776-27-6018
事業内容：自動車販売・整備

CASE 9

ものづくり企業の場合

株式会社キッソオ

鯖江市丸山町にある「株式会社キッソオ」の吉川精一さんにお話を伺いました。



代表取締役 吉川精一氏

<http://japan.kisso.co.jp/>

所在地：鯖江市丸山町4丁目305番2
代表者：吉川精一氏
電話番号：0778-54-0355
事業内容：眼鏡材料・工作機械の販売、アクセサリ・雑貨小物の企画・製造・販売

コロナの影響

眼鏡材料商社である同社は、アクセサリ事業にも力を入れています。同社が取り扱っている素材と培ってきた加工技術を活かし、唯一で多彩なアクセサリを製造しています。

「KISSO」アクセサリブランド

取引先の百貨店が休業になり、売上のメインの催事販売が全てキャンセル。眼鏡の材料販売も受注は前年比で1割程度に落ち込み、売上は前年比で50%減が9月まで見込まれるほどです。展示会もすべてキャンセルになり、受注機会を失ってしまったため、ビデオ通話を使った商談「オンライン商談会」を考案しました。「コロナ禍がい

きっかけになりましたね。普段の商

今後の心構え

「商談と変わらないものでした。商談を首都圏でやることも多いので、移動コストが抑えられるメリットもありましたね」と吉川社長は手ごたえを語ります。実際に「オンライン商談会」が受注のきっかけになっているそうです。



カメラを2台駆使して商談をしました。

Made in Fukui! ~こんなマスクがありました~

一時期は入手困難になったマスク。企業がマスク作りに参入し、さまざまなマスクが全国的に広がりました。ここでは、福井県内企業が作った独自のマスクをちょっとだけ紹介します。

福マスク



株式会社 ファインモード & 石川製紙株式会社

縫製加工会社と和紙製造会社が力を合わせ、布マスクを開発。肌に優しく洗えるマスクと、消臭、抗菌、防臭効果を施した越前和紙をマスクの内側のポケットに入れて使用するのが特徴です。(マスク1枚+取り換え和紙5枚税込1,650円)

株式会社ファインモード

<http://fine-mode.com/>
越前市行松町17-3-2
TEL 0778-22-8034

石川製紙株式会社

<https://www.echizenwashi.net/>
越前市大滝町11-13
TEL 0778-43-0330

製造者からの一言

「2月下旬。マスク不足を何とか解消できないか…」そんな想いで、越前和紙の技術と越前市の縫製が立ち上げたプロジェクトです。現在、医療用ガウンの開発にも取り組んでいます。

洗える絹マスク



小杉織物株式会社

浴衣帯製造の同社が、浴衣帯に使う絹を使ったマスクを開発。肌にやさしく、呼吸が楽で眼鏡が曇りにくい、そして洗って使えるマスクです。(3枚セット税込4,950円)

<https://kosugi-orimono.co.jp/>

坂井市丸岡町猪爪5-3-1
TEL 0776-66-0255

製造者からの一言

帯屋として培ってきたノウハウを活かしてこれから求められてくる予防+オシャレにも使える新たなマスクを常に発信できるように挑戦していきたいです。

洗えるマスク



株式会社ベスト工房

縫製や消毒液、化粧水などを手掛ける同社が開発した、抗ウイルスと抗菌機能、洗濯しても機能劣化がほぼない布マスクです。外側はジャージー生地を使い、表面には独自開発した溶剤が塗ってあります。(1枚税込880円)

<https://www.best-kobo.co.jp/>

大野市下麻生嶋111-1-1
TEL 0779-65-8961

製造者からの一言

接触冷感タイプも製造販売中です。
1枚：1,100円(税別・運賃別)
マスクは新型コロナウイルス終息後もインフルエンザ・花粉対策等向けに製造していきます。

接触冷感 ひんやり夏用マスク



株式会社ケーエス商事

アパレルやカーテン、カーシートなどを製造する同社が開発した、肌に触れるとひんやりと感じる布マスクです。何回も洗って使えるマスクで、生地はストレッチ素材、さらに優れた速乾性もあります。(1枚税込980円)

<https://ks-shouji.shop/>

福井市成和1丁目1613
TEL 0776-21-3450

製造者からの一言

お客様のご要望に応え、暑くなるシーズンにピッタリのマスクを作りました。生地は日本製、福井で縫製しています。今後もニーズに合った商品を作っていきます。

新型コロナウイルスに関する国の支援制度

※令和2年7月15日時点

給付金

持続化給付金

- ★事業全般に広く使える
- ★幅広い業種の方が対象

<支援内容>

法人は200万円、個人事業者は100万円

※ただし、昨年1年間の売上からの減少分を上限とします。

【申請サイトはこちら】「持続化給付金」の事務局HP
<https://www.jizokuka-kyufu.jp>



家賃支援給付金

- ★医療法人なども幅広く対象

<支援内容>

申請日の直前1か月以内に支払った賃料などをもとに算定された金額が、給付されます。

(法人は最大600万円、個人事業者は最大300万円)

【お問合せ先】

家賃支援給付金 コールセンター TEL 0120-653-930

7月14日
申請受付開始!

融資関係

日本政策金融公庫及び沖縄公庫による 新型コロナウイルス感染症特別貸付

- ★信用力や担保がいらない
- ★「特別利子補給制度」を利用で、実質無利子で借り入れ可能

<融資概要>

【資金の使いみち】 運転資金、設備資金

【担保】 無担保

【貸付期間】 設備20年以内、運転15年以内

【うち据置期間】 5年以内

【融資限度額 (別枠)】 中小企業事業6億円 (拡充前3億円)、
国民生活事業8,000万円 (拡充前6,000万円)

【金利】 当初3年間 基準金利▲0.9%、
4年目以降基準金利 中小企業事業1.11%→0.21%、
国民生活事業1.36%→0.46%

【お問合せ先】 日本公庫 事業資金相談ダイヤル
TEL 0120-154-505 (平日)

特別利子補給制度(実質無利子)

- ★指定の借入を行うと利子補給を受けられる

<利子補給>

- 期間: 借入後当初3年間
- 補給対象上限:
中小企業事業・商工中金および政投銀
2億円 (拡充前1億円)、
国民生活事業4,000万円 (拡充前3,000万円)
※利子補給上限額は新規融資と公庫等の既往債務借換との合計金額

【お問合せ先】

(独)中小企業基盤整備機構 新型コロナウイルス感染症
特別利子補給制度事務局 TEL 0570-060515

その他にも国の助成制度がありますので、
詳しくは経済産業省のHPをご覧ください。

<https://www.meti.go.jp/covid-19/>



※上記は令和2年7月15日時点での情報です。新型コロナウイルス感染症に関する情報は日々補助や助成の範囲拡大などが起こっている状況ですので、掲載公開時点による差異がある場合がございますのであらかじめご了承ください。

雇用関係

雇用調整助成金・緊急雇用安定助成金(国)

- ★休業しながら雇用を続けている事業者の方へ
- ★9月30日までは特例措置が適用

<支援内容>

助成率: 10/10 (本来は9/10)

助成額: 1日当たり15,000円 (本来は8,330円)

【お問合せ先】 福井労働局 TEL 0776-22-3363

補助金関係

中小企業生産性革命推進事業

- ★コロナを乗り越えるために特別枠を設置

各事業名

①ものづくり・商業・サービス生産性向上促進事業(特別枠)

対象事業 革新的な製品・サービス開発または生産プロセス・サービス提供方法の改善に必要な設備・システム投資等に係る取り組み

対象者 中小企業、小規模事業者

助成率 2/3または3/4 (1企業あたり上限1,000万円)

申請締切 3次締切: 令和2年8月3日(月)

4次締切: 11月予定

②小規模事業者持続的発展支援事業(特別枠)

対象事業 販路開拓等に係る取り組み

対象者 小規模事業者

助成率 国 2/3または3/4 (1企業あたり上限100万円)

申請締切 3次締切: 令和2年8月7日(金)

4次締切: 10月予定

③サービス等生産性向上IT導入支援事業(特別枠)

対象事業 ITツール導入に係る取り組み

対象者 中小事業者、小規模事業者

助成率 国 2/3または3/4 (1企業あたり上限450万円)

申請締切 最終締切: 令和2年8月31日(月)

【お問合せ先】

①ものづくり補助金事務局サポートセンター TEL050-8880-4053
福井県中小企業団体中央会 TEL0776-23-3042

②日本商工会議所 小規模事業者持続化補助金事務局 TEL03-6447-5485
もしくはお近くの商工会、商工会議所

③サービス等生産性向上IT導入支援事業コールセンター TEL0570-666-424

新型コロナウイルスに関する当センターの支援制度

※令和2年7月15日時点

総合相談窓口

- ★国・県等の支援制度を十分に活用
- ★中小企業診断士等の専門家を常時配置
- ★電話相談のほか、オンラインでの相談にも対応



<対応業務>

相談者の状況にあった支援施策の提案から、支援施策の申請手続き完了まで寄り添った支援を行います。施策は、持続化給付金、家賃支援給付金など国の支援施策、県制度融資・補助金など全般を対象とします。

<相談方法>

- ①チャット相談（フェイスブックのメッセージを活用）
- ②ビデオ通話相談（ZOOMを活用）
- ③電話相談
（専用電話 0776-67-7421 を開設）



詳しくはコチラ!! ➡

専門家派遣支援

- ★約100人の専門家を登録しているため、幅広い分野で活用
- ★コロナ対策としてのテレワーク導入や労務管理に
- ★自己負担が半額



<対象>

創業予定者、中小企業・組合・NPO等で具体的な経営課題をお持ちの方およびサービス産業における生産性の向上を図るグループ

<費用>

専門家謝金1回あたり上限3万円以内（税別）のうち1/2が企業負担となります。
（嶺南地域の対象企業は、1/4負担となります）

<利用回数>

派遣上限は10回まで

【お問合せ先】公益財団法人ふくい産業支援センター
ふるさと産業育成部 TEL 0776-67-7425

新型コロナウイルスに関するお役立ち情報を掲載

- ★国、福井県内の支援制度を掲載
- ★支援制度を中小企業診断士が分かりやすく動画にて解説

【掲載のHP】<https://www.fisc.jp/consult/2020/05/1560/>

中小企業のテレワーク推進等に向けた特別相談会も開催中です！（詳しくはP17へ！）



新型コロナウイルスに関する福井県の支援制度

※令和2年7月15日時点

資金調達

福井県新型コロナウイルス感染症対応資金

新型コロナウイルス感染症により売上等が減少した中小・小規模事業者の方に対し、4,000万円までの融資により資金繰りを支援します。

※当初3年間は、実質無利子で借入が可能です。

※ご利用にあたって、金融機関や福井県信用保証協会の審査があります。

【お問合せ先】

福井県産業政策課 金融グループ TEL 0776-20-0373
制度の詳細は、産業政策課のホームページからご確認いただけます。

福井県経営安定資金

（新型コロナウイルス対策分）

福井県新型コロナウイルス感染症対応資金に加え、7,000万円までの融資により資金繰りを支援します。5月1日からは、融資期間を「10年」、据置期間を「2年」に延長しました。

※一部市町では利子補給により、当初3年間（または1年間）は実質無利子で借入が可能です。

※ご利用にあたって、金融機関や福井県信用保証協会の審査があります。

【お問合せ先】

福井県産業政策課 金融グループ TEL 0776-20-0373
経営相談窓口の連絡先は産業政策課のホームページからご確認いただけます。（「福井県金融制度」で検索）

専門家の派遣

新型コロナウイルス対策・専門家派遣支援

新型コロナウイルス感染症により経営面の影響を受けている小規模事業者に対して、商工会・商工会議所から、経営等に関するアドバイスができる専門家を無料で派遣します。

【問い合わせ先】

お近くの商工会、商工会議所
福井県産業労働部創業・経営課 TEL 0776-20-0367

販路開拓

ギフトシーズン等を活用した 県産品販売促進緊急支援事業

新型コロナウイルス感染拡大を受け、全国の大型小売店舗の休業やイベントの中止により、県内企業が製造する県産品にも大きな影響が出ています。福井県と西武福井店の協働によりオンラインストアで県産品を販売するとともに、販売促進策を併せて行います。

＜補助対象者＞県産品を製造する県内中小企業者等

＜支援内容＞福井県と西武福井店の協働による
オンラインストア

- ①そごう・西武「e.デパート」でのバナー広告を展開
- ②そごう・西武の各店舗でのオンラインサイトによる周知
- ③検索サイト等でのポップアップ広告を展開
- ④お歳暮の時期に向けて、そごう・西武のバイヤーによる商談会を開催（8月予定）。採用商品の一部については、カタログギフトに掲載し、西武福井店のお歳暮催事会場で販売
- ⑤オンラインサイトおよび西武福井店のお中元・お歳暮催事会場での県産品購入者に抽選で伝統工芸品等をプレゼント

＜県産品の募集＞

- オンラインサイトで販売する県産品は随時募集しております。
- 販売に当たっての条件等については、西武福井店にお問合せの上、ご確認ください。
- 商談会については、参加希望事業者を7月～8月頃に別途募集します。

【お問合せ先】

西武福井店（代表） TEL 0776-27-0111
福井県産業労働部 産業政策課 TEL 0776-20-0369

中小企業経営活動緊急支援事業

新型コロナウイルスの影響により、海外に渡航しての商談や営業が困難になっています。中国向け越境ECモールの特設ページ「福井館」を活用するための費用を支援

しますので、日本から直接、中国の消費者に販売可能な越境ECをご利用ください。

＜補助対象者＞令和2年4月1日～9月30日までに、
福井館に入館申込をした県内企業

＜支援内容＞

- ①商品ページ作成費 半額助成
 - 全カテゴリ（ファッション除く）
1万円/SKU→5千円/SKU（5SKUまで）
 - ファッション3万円/SPU→1.5万円/SPU（2SPUまで）
※「SKU」「SPU」はそれぞれ品数の単位です。
- ②新規口座開設費 ●通常5万円→無料
- ③福井館入館料
 - 出品数1～5品目5千円/月→最大6か月間無料
 - 出品数5品目超1万円/月→最大6か月間無料

【お問合せ先】

福井県国際経済課 海外展開グループ TEL 0776-20-0366
または 株式会社福井銀行 コンサルティンググループ
海外支援チーム TEL 0776-50-7519
詳細は国際経済課のホームページからご確認ください。
（越境EC 福井館で検索）

伝統工芸原材料確保支援事業

伝統的工芸品を作る上で欠かせない中国からの輸入原材料が高騰した場合に備え、緊急の需要に対応する分についての調達経費を支援します。

＜支給対象者＞産地組合（越前漆器協同組合、若狭漆器協同組合、福井県和紙工業協同組合）

＜支援内容＞

補助対象：新型コロナウイルス感染症流行前の価格から10%を超え値上がりした原材料（漆・こうぞ・みつまた）の価格上昇分

補助率：2/3

【お問合せ先】

福井県産業技術課 伝統工芸室 ☎0776-20-0377

雇用関係

雇用調整助成金等利用促進事業補助金

雇用調整助成金等の申請手続きを、社会保険労務士に依頼した事業主の方に、要した費用を支援します。

＜補助対象者＞

- 県内に本社機能のある中小企業事業主
- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休業により、雇用調整助成金または緊急雇用安定助成金の支給決定を福井労働局から受けた事業主

＜支援内容＞補助率：10/10

上限額：10万円（1事業主当たり）

※雇用調整助成金等の申請1回で補助額が上限の10万円に満たない場合は、複数回分をまとめて補助額が10万円に達した時点で、補助金の申請をしていただけます。

対象経費：雇用調整助成金等の支給申請にかかる事務代行や書類の作成業務を令和2年4月1日以降に社会保険労務士に依頼した費用

【お問合せ先】福井県労働政策課 労働環境グループ

TEL 0776-20-0389 FAX 0776-20-0648

雇用維持事業主応援金

休業中も従業員の雇用を守る事業主の方に対して、事業主・役員の休業日数に応じ、県独自の応援金を支給します。

＜補助対象者＞休業中に従業員を解雇せずに、休業手当等を支払っている事業主

＜支援内容＞事業主の休業日数に応じて応援金を支給
（1企業当たり50万円を上限）

事業主1人の場合 1万円×休業日数

事業主・役員2人以上の場合 2万円×休業日数

【お問合せ先】福井県労働政策課 雇用対策グループ

TEL 0776-20-0390

その他にも福井県の助成制度がありますので、
詳しくは福井県のHPをご覧ください。

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/sansei/pr-jigyousya.html>

※上記は令和2年7月15日時点での情報です。
各制度に関しましては各担当先にお問い合わせください



よろず支援拠点 相談ノート

商品開発編

令和元年11月頃から相談開始

「地元企業の技術を融合した土産物の商品開発として朝倉氏遺跡や歴史にちなんだピンバッジを作りたい。第一弾として、メガネの材質であるアセテートの端材を用いて蒔絵や沈金加工を施す。どのようなデザインが好ましいかアドバイスがほしい」これがスタートでした。

「地元企業技術の融合」「朝倉氏遺跡」「歴史」「福井」「蒔絵・沈金」といった要素の全てに注視した商品は結果的に個性が乏しく、コンセプトが伝わりづらいものになります。そこで要素を整理、取捨選択する必要性がありますが、この場合は「土産品+朝倉氏遺跡」「土産品+蒔絵・沈金」「土産品+アセテート+蒔絵・沈金」の三つに絞ったデザイン展開が望ましいと助言しました。

何を作るか、どんなコンセプトにするか、と言ったことは白紙と言ってよい状態でありました。担当したコーディネーター（以下Co）のアイデアで、令和2年の大河ドラマで明智光秀が取り上げられることが決まっていたので、朝倉氏や一乗谷と明智光秀を素材にしたもので検討することとなりました。

朝倉氏や明智光秀を示すデザインとして家紋があるので、これをベースにすることを提案。さらに、これだけでは個性が出にくく、商品としての差別化が難しいので、家紋を使ったピンバッジを作ることを助言しました。

アイデアを形にする

それを受けて内部で検討が進み、次に出てきたのは、「メガネの材質であるアセテートを丸い形状に削り大小大きさの違う円を組み合わせた。」ということでありました。

アセテートを組み合わせるためには、ひとつは大きい円に小さい円を上貼り付ける方法があります。その場合、上下それぞれを機械で固定し貼り付け作業を行うため、作業効率が悪く難易度も高い。一方で、パズルのピースのように凸凹にカットして嵌め込む方法がありますが、この場合は貼り合わせより作業効率は高いものの収縮率の高いメーカーのアセテートは隙間ができるため、安定した素材を選定するよう助言しました。

素材が固まったので、次の段階は加工方法です。家紋のデザインを蒔絵加工する手法の一つとして、判子のような形状のゴム印を作成し加工を行うことになりました。

この方法は、ゴム印で圧着させ絵柄を写す加工特性から図案が潰れやすい為、細かな図案は適しません。候補に挙がっている図案は細かい為、一層簡略化させた図案に修正するよう助言しました。

相談先:株式会社曾明漆器店

相談者:曾明富代

事業概要:創業は大正12年。山中漆器の技術を身につけた創業者が河和田の地で始めた越前漆器の老舗。

相談概要:これまでも新商品開発に取り組んできたが、令和元年度の福井県おもてなし産業魅力向上支援事業（助成金）に採択され、新幹線の敦賀延伸開業を見据えた土産品を開発したい。

並行してパッケージデザインについても相談を受けました。ピンバッジのサイズは、小で直径20mm、大は縦横45mm程度の2種類。販売予定価格は6,000円、8,000円（税別）。共通サイズの桐箱を作成して水引で結わいたいとのことでした。

販売価格とのコストバランスを考えなければならない。6,000円～10,000円クラスの商品であれば桐箱といった高級感を持たせるのも演出として必要ですが、このピンバッジはもう少し手軽な価格帯のため、紙製の貼り箱に巻き紙を施すデザインも検討してはどうでしょうか。使用する紙やデザイン次第で十分上品さを演出できると助言しました。



漆器のピンバッジ

商品化を終え商品販売へ

第1弾の商品ラインナップが決まり、次は販路構築を進める段階に入っています。福井駅前の商業施設や、朝倉氏遺跡に近い道の駅や土産品の取扱店については既にリストアップ済みで、道の駅などについては以前から商品開発と並行して大まかな提案は行っています。イメージ図と文字の提案書では実感がわかないと言われていましたが、今回は製品ができたので、現物も提示しながら商談を進めるべく、具体的なアプローチ計画を作って活動を始めるところです。

相談者からコメントをいただきました

ピンバッジのデザインが決められず、よろず支援の先生にお願いしたところ、早速スケジュールを組んでいただき、デザインから商品作成、販路のアドバイス等、分かりやすく丁寧に指導していただき、スムーズに完成することが出来ました。

お申し込み・お問い合わせ先



福井県よろず支援拠点

TEL:0776-67-7402

E-mail:yoro-zu@fisc.jp



時代の変化をとらえ、強みに変える！ SDGs時代に飛躍する福井発ベンチャー

株式会社 秀峰

県内で成長意欲の高いベンチャー企業をご紹介する新シリーズ。1回目の今回は、時代の変化を追い風に、ビジネスの新しい切り口を見つけ、さらなる販路拡大に挑んでいる株式会社秀峰（福井市）の事例をご紹介します。「ビジネスの新しい切り口を見つける」というとハードル高く感じるかもしれませんが、「長年愚直に取り組んでいることが、実は今の時代の流れによって新しい価値を生み出しているのかもしれない」という発想の転換が、大きなヒントに繋がることもあります。

「水と空気以外はなんでも印刷できる」 唯一無二の優れた技術

株式会社秀峰は、1983年に現会長の村岡貢治氏が創業した特殊曲面印刷および印刷機システムの販売を行う会社です。創業当初はメガネの販売会社としてスタートしましたが、1989年に大きく舵を切りました。従来は転写フィルムを使って写し取る方法でしかできなかった曲面への印刷を、ダイレクトに印刷できる特殊な印刷技術を開発したことがきっかけです。

「印刷に関して素人だったからこそ思い付いたアイデアだった」と話す会長の村岡氏は、元銀行員。試行錯誤で研究開発を繰り返し、印刷技術をブラッシュアップさせ、印刷対象物を大型化・多様化させていきました。「水と空気以外はなんでも印刷できる」というこの革新的な印刷技術は、2007年に「第2回ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞」を受賞。現在は、メガネや携帯電話、自動車の内装部品や高級サッシなど、幅広い分野から注目を集めています。

2019年5月、時代が平成から令和に変わるタイミングで村岡右己氏が2代目社長に就任。代替わりをきっかけに、技術開発のみならず、販路拡大にも精力的に取り組んでいます。



印刷機と
デザインサンプル写真

時代の移り変わりが追い風に

同社の印刷技術の強みは、「多品種・小ロット・低コスト」です。直接対象物の定位置に高精度な印刷を行うことができるため、意匠性の高い高付加価値の商品への印刷を実現することができます。この技術は同社が特許を持つオンリーワンのもので、業界ですでに普及しているフィルム転写型の曲面印刷方式では実現不可能な事でした。当時は消費者ニーズの多様化も進みはじめており、自動車や住宅建材などの「高級ライン」に採用され、年々受注を拡大。2015年からは、印刷機を販売するフランチャイズ事業を開始し、国内外に拠点を拡大して大量生産にも耐えられる体制作り



グラデーションサンプル写真(自動車内装部品)

に力を入れています。



所在地 福井市大土呂町2号5-5
TEL 0776-39-0800
<http://www.shu-hou.co.jp> info@shu-hou.co.jp



代表者 村岡 右己氏

しかし一方で、すでに業界標準として定着し、大ロットでのコストダウンできるフィルム転写方式の圧倒的なシェアに食い込んでいくためには、あともう一押しインパクトのある強みが欲しいと村岡社長は考えていました。

SDGs時代を切り口に販路拡大 「今が絶好のタイミング」

そういった状況のなかで、新たな切り口として見出したのが、「環境への配慮」という視点でした。

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニウム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

「従来のフィルム印刷方式は、インクを定着させる際に有機溶剤を使用することになり、どうしても廃液が生じる。当社の印刷インキは有機溶剤を使用しないため、廃液が出ず、環境に非常に優しい。環境への配慮がますます必要となる時代にあって、その特性は大変な武器になると気づいた」そのきっかけになったのは福井ベンチャーピッチへの登壇だったといいます。

「ピッチに登壇し、経験豊富な専門家からアドバイスいただくことが大きなきっかけになった。特に、SDGsを切り口にビジネスを整理するとビジネスチャンスがあるという視点に気づかされたことは目から鱗だった」

「今が販路拡大の絶好のタイミング。海外展開に向けて課題はたくさんあると思うが、ぶつかる壁には向かっていきたい。時代の変化をとらえ、強みに変えるという意識をもって、当社の曲面印刷技術を世界に広めていくつもりだ」と村岡社長は意気込みます。

今回の事例はいかがだったでしょうか。SDGs時代の今は、「SDGsの目標と自社の事業がどう関連しているのか」という視点から自社のビジネスを整理することで、ビジネスチャンスを見出すことが可能です。既存事業から新たな価値を見出して、一点突破でニッチトップを目指していくという考え方もまた、ベンチャー的思考といえるのではないのでしょうか。是非、皆さまの会社でもチャレンジし、新たな成長に繋げていただければと思います。

執筆：ふるさと産業育成部 ベンチャー・EビジネスG 岡田 留理

注目企業



研究開発室室長 渡邊秋人氏



専務取締役 酒井良次氏

三軸織複合材料の開発生産で、次世代の宇宙ビジネスを開拓

サカセ・アドテック株式会社

世界で唯一の三軸織技術を用いた特殊繊維加工を手がける、サカセ・アドテック株式会社。今年6月、同社の技術が2件、JAXA（宇宙航空研究開発機構）が公募した革新的衛星技術実証3号機の実証テーマに選定されました。1990年代から航空宇宙分野に取り組んできた経緯と今後の展望を、宇宙関連事業を担当する専務取締役の酒井良次氏と研究開発室室長の渡邊秋人氏に伺いました。

炭素繊維の三軸織物で人工衛星アンテナを製造

新型コロナウイルス感染症の影響が多岐にわたるなか、人工衛星のデータを活用した地球環境や経済活動の分析が注目を集めています。衛星データの活用が広がるなか、同社は三軸織物を使った人工衛星のアンテナ用複合材料で、約6割の世界シェアを誇っています。

同社の設立は、1988年。衣料品の織物製造を行う酒清織物の新事業の一環として誕生しました。炭素



三軸織をとり入れたアンテナ



三軸織イメージ図

繊維やアラミド繊維など先端複合材料の可能性を模索し、アメリカから導入した三軸織の織機を改造して、新しい用途展開を図っていきます。「三軸織物は、1本の緯糸に斜め2方向の経糸で組

織された織物。さまざまな特徴を持つユニークな材料ですが、当時は使いこなせていませんでした。スポーツシューズに使われ話題にもなりましたが、暗中模索は続きました」と振り返る酒井専務。

その頃、アメリカの衛星に炭素繊維が使われたことを受け、アメリカで開かれた展示会に炭素繊維の三軸織物を出展。「軽量化が求められる宇宙で、少ない繊維量で高い剛性などが出せる三軸構造はアンテナに最適でした」と渡邊氏は語ります。そこで得た反響をもとに、宇宙分野に向けた材料開発に本格的に着手。1995年頃、同社の三軸織

物複合材料がアメリカの衛星メーカーに採用。日本のプロジェクトでは、1998年、火星探査機『のぞみ』のアンテナの反射鏡で初めて採用されました。

宇宙インフラテーブル構造の研究開発を推進

三軸織物を発端とした同社の複合材料技術は、これまで宇宙探査機搭載用アンテナ、観測ロケット搭載用機器、国際宇宙ステーション用実験装置などに使用されています。2003年に打ち上げられた小惑星探査機『はやぶさ』や後継機『はやぶさ2』のアン



サカセ・アドテック株式会社

所在地：坂井市丸岡町下安田14-10

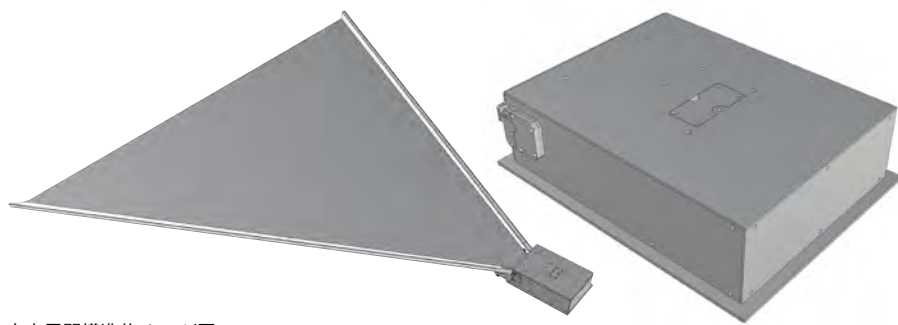
代表者：酒井 慶治氏

電話番号：0776-66-2115

事業内容：三軸織物製造

<http://www.sakase.co.jp/>

「一般社団法人ニュースペース国際戦略研究所」のHP <https://ngsl.or.jp/>



宇宙展開構造物イメージ図

テナにも採用。アンテナの技術開発では福井県工業技術センターと共に取り組み、後の福井県の宇宙事業にも刺激を与えたといえます。

そんな同社が三軸構造の次のステップとして着目したのが、織物が元の形状に戻ろうとする復元力を利用した「宇宙展開構造物」の研究開発です。これは折り紙のように材

料をコンパクトに折り畳んで収納し、宇宙環境で大面積に展開する構造のこと。産学官連携の技術検討会を設け、何度も議論を行いました。

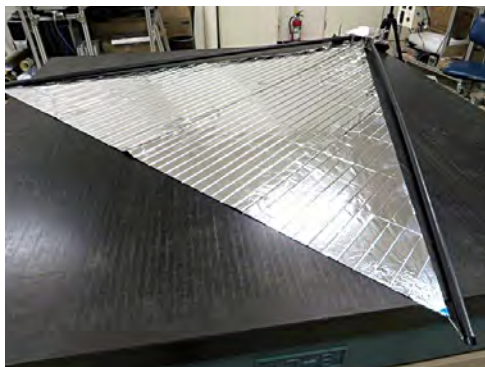
「基礎的な構造技術全般では、東京大学の先生と長年一緒に研究を行いました。他にも、日本大学、東京工業大学など、多くの大学のお世話になっていきます」と語る渡邊氏。

「そうして経験を積むなかで、当社の開発姿勢も必要とされるものを提供しようという『ユーザーファースト』に変化していきましたね」と酒井専務は続けます。

2005年から、JAXAの宇宙オーブンラボでの共同研究がスタート。日本で初めてインフレータブル構造の宇宙実証に成功し、宇宙硬化技術の確立と構造技術の実用化を目指していきます。

JAXAの公募に選定 宇宙技術の地上転用も

2020年6月、JAXAが公募した革新的衛星技術実証3号機の実証テーマに、同社の動力を使わず太陽電池のパネルを開く部材と、小型衛星開発のアクセルスペースと



(上) 今回採用された膜展開構造物
(下) 三軸織が使われている内装建材

の共同開発による衛星の軌道を変える装置の2件が選定されました。太陽電池パネルを開く部材は、同社が研究を重ねてきた「宇宙展開構造物」の技術を活かしたものです。この部材は軽く耐久性に優れているため、地上でもドーム施設の天幕などへ応用が可能です。「宇宙技術の研究開発で得たイノベーションの成果を地上転用し、事業化につなげていきたい」と酒井専務は語ります。すでに同社は、宇宙関係以外に、スポーツ関係やアート&デザインの分野で事業を展開。三軸織物の復元力を活かした釣り竿やゴルフクラブなどのスポーツ用材料、建築用内装材をはじめ、文化財保存といった社会インフラ

にも貢献しています。

また、酒井専務は最新テクノロジーを活用した超スマート社会「Society 5.0」を見据え、人工衛星のデータを活かしたIoTやAI、ビッグデータの活用注目しています。自身が理事を務める「一般社団法人ニュースペース国際戦略研究所」では、大企業ベンチャー・中小企業・異業種、90社が集結、更に宇宙飛行士を含む44名の有識者、海外政府機関を含むオブザーバー14名、により構成され、宇宙環境保全から地方創生におよぶ多彩な研究会を開催。宇宙技術を活用した地球規模の課題解決や、新たな宇宙ビジネスの可能性を開拓し続けています。

ディープラーニングによる 食品の品質評価に向けて ～粉わかめの品質評価技術の開発～

福井県工業技術センター 機械・金属部

「ディープラーニング」とは

コンピュータ上などで人間と同様の知能を実現させるための一連の技術を人工知能（AI）といいます。ディープラーニングはAIの中の、機械学習の中の要素技術の一つです。機械学習では、沢山のデータからある事象の「特徴」を捉え、それを予測・判断時の「法則」として利用します。従来の機械学習ではコンピュータが学習するために必要な特徴量を人の手で探し出さなければなりませんでした。ディープラーニングでは、コンピュータが自動的に特徴量を抽出します。画像認識、音声認識、自然言語処理、異常検知などが可能で、スマートスピーカーや株式売買システムなどでも利用されています。福井県工業技術センターでも、ディープラーニングを活用して食品の品質評価技術の共同研究を実施しましたので紹介します。

AI（人工知能）

人間と同様の知能を実現させようという取り組みやその技術

機械学習

特定のタスクをトレーニングにより
実行できるようになるAI
人が特徴を定義

ディープラーニング

コンピュータが特徴を自動定義

AIの三大分類図

粉わかめの品質評価技術の開発

水産資材事業を展開するサカイオーベックス株式会社と福井県工業技術センターが共同で、粉わかめの品質評価技術の開発を行いました。

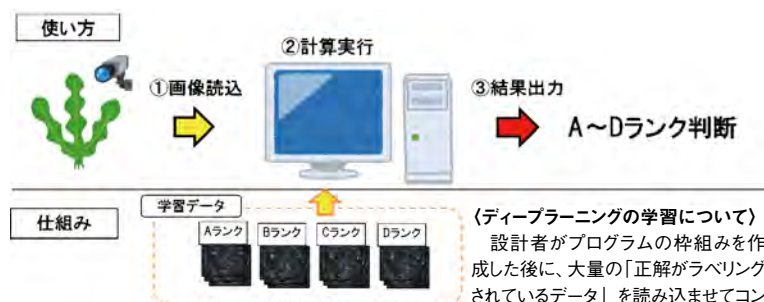
粉わかめは、そのまま乾燥させたわかめを手作業で揉み砕き、細かいかけら状にしたもので、湯通し塩蔵わかめ（水で戻して食す一般的なわかめ）に比べて、海のミネラルによる栄養が豊富といわれています。天然自然食品として愛用者も多く、瓶詰などにされ、福井県の特産品として親しまれています。

サカイオーベックス株式会社は粉ワカメの製造を行っており、販売に際して取引先の目視による官能検査を経て購入の可否が決定されます。取引先に安定した品質のわかめを供給するため、官能検査を数値化し客観的に評価できるようにすることで、販路を拡大して加工量を増やしたいという要望から、工業技術センターに相談がありました。

粉わかめの品質は、色、大きさ、厚みなどいろいろな要素が絡まって評価されています。特に乾燥工程の影響が大きく色に表れます。この色を正確に評価するため、ロットごとのわかめを外部の光の影響を受けない環境内で撮影し、その画像をもとに評価を行いました。評価方法としては以下の2パターンのソフトウェアを開発し、評価を実施しました。

①粉わかめ画像の複数色の色見本に対して、評価画像がもつ色成分の割合を評価

…官能検査で注目していた「色の違い」を数値化し客観的なデータを蓄積



開発した粉わかめの評価ソフトウェア概要

②ディープラーニングにより、官能検査でのランク

分類（A～D）を学習させ、撮影した画像のわかめをランク分類評価…あらかじめランクがわかっているわかめについて、1000枚以上の写真を撮影して学習・評価

この2つを用いることで、粉わかめの色品質の評価の客観的な指標を持つことができ、品質の評価を迅速に行うことが可能となりました。

今後も、AIを活用して様々な分野で技術支援を行っていきたいと考えています。



GOOD DESIGN

第31回

福井県のグッドデザインを紹介 グッドデザインシンキング



2019年度グッドデザイン賞受賞

子育て支援活動 [kurumu (くるむ)] / 高浜町

「子育てするなら、高浜がいいよ」子育てする世代が、今よりもっと幸せに子育てできる町になるため、地域のぬくもりに包まれた子ども達が、次の誰かをあたたく包む人に成長できるように、「地域の素材 (soil)」「家族の絆 (soul)」「地域とのつながり (society)」の3つをデザインし、持続可能な子育て環境を実現しました。これまでの子育て支援センターを新たに子育て世代包括支援センター「kurumu」にリニューアルの際、「対話・成長・心」をコンセプトとしたプレイルームを造設。設計やデザインに地域素材である路地や民宿の間取り、地域産材を積極的に取り入れました。また民宿を活用した産後デイケアは大変好評で、子育ての不安を和らげ、家族の絆を強めています。さらに、地域と子供のつながりづくりの仕掛けとして、高浜のゆるキャラ「赤ふん坊や」と踊る赤ふん坊や体操を考案したり、Uターンした若手デザイナーと子育て世代で制作したオリジナル絵本や食卓をテーマとしたコミュニティイベント「和田 de 路地祭」を開催し、地域を好きな子供 (小6) が75%になるなど増加しています。

【DATA】

- プロデューサー 高浜町 保健福祉課 越林いづみ / 総合政策課 野村 労
- ディレクター 高浜町 保健福祉課 畑中美優寿 / 総合政策課 野村 労
- デザイナー 株式会社ジャッカ 丸山晴之 + HOSHIDO 佐藤実紀代 + まるさデザインワークス 釣本麻紀子
- 価格 0 ~ 1,500 円 (行政の住民サービス、地域ボランティア活動によるサービス提供のため、直接的利用料は基本無料 (民宿での産後ケアは自己負担 1,500 円 / 回))

【審査委員の評価】

担当審査委員 | 服部滋樹 近藤ヒデノリ 平林奈緒美 山出淳也 山崎 亮

子育て世代包括支援センターとしてオープンされた、子育て横断型の仕組みが可視化されている。自治体の縦割りの垣根をはずし、子育てに邁進できる環境としてこのセンターの役割は地域にとってとても大きい。人口 1 万人の町から、他地域のお手本として高浜式の子育ての形が広がっていく事を願う。

中小企業のテレワーク推進等に向けた 特別相談会のご案内

IT分野に強い専門家がテレワークの導入・活用に向けた
ご相談をお受けしています!!

相談
無料

こんな疑問をお持ちではないでしょうか？

- ◆ 小さな会社でもテレワークって必要？導入してどんなメリットがあるのかな？
- ◆ 導入するのにお金がかかりそうだけど…
- ◆ 社外や社内とのコミュニケーションはちゃんととれるのかな？
- ◆ システムの導入や社内制度の変更などが難しそう…

このような疑問に、コーディネーターがお答えします! そもそも「テレワーク」って？
という初歩的な相談でも、もちろん大丈夫です。まずは、お気軽にご相談ください。

新型コロナウイルス対策、働き方改革に向けた取り組みの一つとして、『テレワーク』への注目が
高まっています。その一方で、中小企業での導入事例はまだ少なく、導入に向けた対応ができてい
ないケースも多いかと思います。

そこで『総合相談窓口』では、IT分野に明るい北島コーディネーターに
よる『中小企業におけるテレワーク導入のための特別相談会』を実施しま
す。相談企業様の業種、IT導入状況、経営者やスタッフの方のニーズ等
をお聞きしながら、**それぞれの企業様に適した**テレワーク活用のあり方
についてアドバイスを行います。



(公財) ふくい産業支援センター

総合相談窓口
担当コーディネーター

北島 宏樹

中小企業診断士
ソフトウェア開発技術者

8月・9月の相談日

8月24日(月)・9月7日(月)

各日 ① 9:00～10:30
② 10:30～12:00
③ 13:00～14:30
④ 15:00～16:30

お問い合わせ

総合相談窓口 [無料・事前予約制]

毎週月曜～金曜(土日・祝日除く) 9:00～17:00

TEL:0776-67-7400 FAX:0776-67-7429 E-mail:soudan-g@fisc.jp

URL: <https://www.fisc.jp/consult/sougo/>

総合相談窓口 ふくい 🔍 検索

※上記のURLもしくは右記のQRコードから総合相談窓口のコーディネーターの当番予定日や予約の状況をご確認いただくことができます。まずは、気軽にご相談ください。



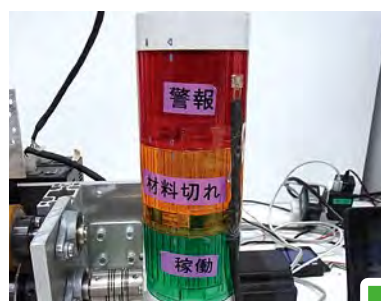
ふくい AI ビジネス・オープンラボ

FUKUI
AI Business
OPEN Lab
ふくい AI ビジネス・オープンラボ

ふくいAIビジネス・オープンラボは、IoT・AI技術の導入支援や人材育成の拠点です。
IoT・AI技術を活用した生産性向上・業務効率化や新たなビジネスの創出をご支援します。

展示コーナーのご案内

製造設備稼働状況の見える化



工場など、製造現場の設備に使用されているパトライトの発光状態を光センサで識別し、蓄積したデータを分析することで業務改善につなげるIoTシステムです。たとえばパトライトの発光色が赤色ならば「Red」、黄色ならば「Yellow」、緑色ならば「Green」というようにマイコンに送られた情報を、事務所などの遠隔地に転送します。データはクラウドに蓄積されるので、後から稼働率などの分析を行うことができます。設備の稼働状態を現場以外で確認したい場合や、製造設備の稼働率や故障率を分析したい場合に役立ちます。

現状の製造設備をIoT化するには大掛かりな改造が必要なイメージがありますが、そういった改造なしで設備の稼働率を見える化できるという事例です。

お問い合わせ先

グラスITフィールズ(株)

福井県吉田郡永平寺町けやき台102 代表取締役社長 山本道明氏
TEL 0776-63-3401 URL <https://www.grass-it-fields.com>
E-mail michiaki.yamamoto@grass-it-fields.com

お問合せ

(公財) ふくい産業支援センター
ふくいAIビジネス・オープンラボ (略称: AIラボ)

TEL: 0776-67-7404 E-mail: ailab@fisc.jp <https://www.fukui-ailab.com>

開館 平日および第2・4の土曜日
日時 9:00~17:00 (12/29~1/3を除く)

KUMANDO WEEK 2020

#コロナに負けるな
アフターコロナの時代に向けて
ビジネスをバージョンアップしよう

kumando-week とは?

県内の情報化拠点として、県内企業の IT 活用を推進してきた福井県産業情報センターでは、9月10日を「Kumando(くまんど)の日」とし、その週間に合わせてITやビジネスにまつわるセミナーやイベントを、他の機関とも連携しながら多数行います。IT関係者や経営者の方はもちろん、子どもたちが楽しみながら学べる体験イベントも開催。新たなビジネスの息吹を感じ、交流していただける1週間です!
今年はアフターコロナをテーマとし、セミナー等のリアル配信などオンラインをフル活用します。

9月10日は
Kumandoの日
2020
9/7~13
MON SUN

9/9 (wed)

1 特別講演会

「変なホテル」の立役者が語る、 ロボット、AI、IoTがもたらす未来

業務・サービスロボット市場は深刻化する人手不足や人件費の高騰などを背景に拡大を続けており、2025年には現在の3倍近くの11兆円の巨大市場へ成長すると予測されています。

富田氏はハウスロボ株式会社(最高技術責任者)として人手不足、生産性向上、AI、IoT、ロボットなど現在注目のキーワードが凝縮され、大きな話題を呼んだ「変なホテル」を技術面から支え、同ホテルの立役者となりました。その成功の舞台裏、ロボット、AI、IoTがもたらす未来およびアフターコロナの世界で、テクノロジーをどう活用していくかについて語っていただきます。

講師 株式会社hapi-robot 代表取締役社長
富田 直美氏

時間 10:00~12:00

会場 マルチホール

対象  中小企業者等



9/9 (wed)

2 IT経営カンファレンス

AI・IoT時代に 中小企業の取り組み ~#コロナに負けるなver.~

AI・IoT時代に中小企業が生き残るための課題と解決に向けた取り組みについて事例を含めて紹介します。また、アフターコロナ時代のIT活用法についても取り上げます。

対象  一般

講師 一般社団法人AI・IoT普及推進協会
代表理事 **阿部 満氏**
武州工業株式会社 代表取締役
林 英夫氏

時間 13:30~17:00

会場 マルチホール

9/10 (thu)

3 創業計画書作り勉強会

創業計画書作り勉強会

創業の心構えやプランの作り方、資金面の計画の立て方など、アドバイザーと一緒に考え、つくります。

対象  創業準備中の方・創業して5年以内の方

講師 創業マネージャー
加藤 永俊氏

時間 13:00~15:00

会場 システム設計室

4 飲食店向けセミナー

飲食店オーナーのための 売上・利益アップセミナー ~今からやるべきアフターコロナ対策とは~

県内で活躍する飲食店創業者を講師に迎え、売上・利益獲得術と時代を生き抜くアフターコロナ対策について、お話しいただきます。

対象  一般
(起業に興味のある方・個人事業主・中小企業経営者)

講師 篠山 たか
齋藤 敏幸氏

時間 16:00~17:30

会場 会議室A B

5 起業セミナー

あなたの創業が成功する シンプルな考え方

県内で活躍する創業者を講師に迎え、「創業が成功するシンプルな考え方」について、自らの体験をもとにお話しいただきます。

対象  一般
(起業に興味のある方・個人事業主・中小企業経営者)

講師 篠ドラフト
伊藤 佑樹氏
篠ビュアプラス
石塚 由樹氏

時間 18:30~20:00

会場 会議室A B

9/12 (sat)

6 ふくいAIビジネス・オープンラボ勉強会

Google Colaboratory で始めるAIツール

PCがなくてもAI開発ができるGoogle Colaboratory(グーグルコラボラトリー)について学んでいただけます。基本的な扱い方から、TensorflowやKerasを用いた機械学習までを行います。

対象  一般

講師 篠PTOK
野坂 武司氏

時間 10:00~12:00

会場 オンライン開催

9/12 (sat)

7 AI・IoT基礎講演

新時代のコミュニケーション ロボットの社会実装について

シャープ様より、コミュニケーションロボットおよびスマホ/タブレットを使った法人ソリューションについてお話しいただきます。

対象  一般

講師 シャープ(株) 通信事業本部
市場開拓部長 **景井 美帆氏**

時間 13:30~15:00

会場 オンライン開催

8 AI・IoT活用セミナー

県内企業のAI・IoTの 導入事例紹介

ふくいAIビジネス・オープンラボで専門家に相談した結果、県内企業のIoT導入につながった事例を紹介いたします。

対象  AI・IoTをビジネスに活用したい方

講師 NPO法人福井県情報化支援協会 理事長
兼ビジネス・アイ 代表取締役
杉川 昌文氏

グラスITファーム 代表取締役
山本 道明氏

時間 15:00~16:30

会場 オンライン開催

9 ナレーター勉強会&ミニセミナー

現役ナレーター直伝 ナレーション勉強会

県内のCMやTV番組でナレーターとして活躍する講師を迎え、コロナ時代でも仕事の依頼を絶やさない働き方、自身の体験を語っていただく。また、CM映像に合わせたナレーションを参加者に体験していただく実演ワークショップも行います。

対象  一般
(ナレーター、声優など声の仕事を目指す方、興味のある方)

講師 ナレーター **岡田 健志氏**
篠サウンドディレクション
小川 小一郎氏

時間 14:00~16:00

会場 システム設計室

9/13 (sun) 親子体験の日

10 ドローン体験

私立ドローン学校

ドローンは単なる遊び道具じゃない。これからの時代を支える新しいツール。ドローンの役割やドローンにできること、そしていろんなドローンを使った遊びなどを学び、ドローンを身近なものに感じよう!

対象  親子
(小学生)

講師 さかい飛行倶楽部

時間 10:00~12:00

会場 マルチホール

11 プログラミング体験

プログラミング教室

BASICプログラミング専用パソコン「IchigoJam」を使い、ゲーム作りを体験いただきます。初めてキーボードを触る子どもたちでも安心なメニューでプログラミングを楽しく学べます。

対象  小学生
(付き添い可)

講師 PCN

時間 13:30~15:30

会場 会議室A B

その他、関連イベントが目白押し

- YouTuber 体験イベント (13日開催予定) 対象  一般
- AR クイズラリー (13日開催予定)
- kumando TV (9/7~9/12)
- 支援センター活用事例紹介 (9/7~9/13)
- AI・IoT 活用事例パネル展 (9/7~9/13)

お申し込みはコチラ!!

(公財)ふくい産業支援センター 総務部
TEL:0776-67-7414 FAX:0776-67-7419
E-mail:kumando-week@fisc.jp
https://www.fisc.jp/kumandoweb/
(ホームページからのお申し込みも可能です)



DESIGN CONECT LECTURE

ニューノーマルな暮らしへの探求

参加
無料

ーウィズコロナ時代に必要なデザインとはー

事前の参加登録が必須です。
配信期間中の講座を無料で視聴できます。

第一線で活躍する講師と新しい時代を切り拓くためのデザインのあり方を考えていく 全4回のオンライン講座 (1回: 約60分)

LECTURE 1

デザインを架け橋に北陸と世界を繋げよう

ウィズコロナの時代、これからどう変化し進むべきか？
福井、北陸の可能性について探ります。

講師

黒崎 輝男 氏

流石創造集団株式会社 C.E.O./プロデューサー

視聴可能期間 7/20~9/30



LECTURE 2

価値の創造とコミュニティ

環境、場づくりがどのようにコミュニティ(地域社会、共同体意識)に作用するかについて掘り下げます。

講師

小堀 哲夫 氏

株式会社小堀哲夫建築設計事務所/建築家

視聴可能期間 8/5~8/19



参加登録は専用
ホームページから

右記URLかQRコードを読み込んで、事前に申し込みをしてください。
ご登録いただいたメールアドレスに視聴専用URLが届き、
配信期間内のレクチャーを自由に視聴できます。

www.sankan.jp/fmc/dc2020



お問い合わせ デザインセンターふくい (公財)ふくい産業支援センター デザイン振興部 Tel:0778-21-3154 (平日9:00~17:00)

従業員のキャリアアップを 応援します キャリアアップ応援奨励金

福井県では、事業主が継続して人材育成に取り組むため、従業員に学位や資格取得を奨励する支援制度を新たに導入し、その制度を活用した実績が出た場合に奨励金を支給します。

支援制度として「要件①」と「要件②」の両方を定めた規程を整備してください。

要件①

学位や資格取得のための経費を
事業主が負担
職務命令 = 全額
自発的 = 一部

要件②

取得のために勤務面を考慮

(例)特別休暇の付与、夜勤免除などシフトの変更

または

取得したことによるインセンティブ

(例)一時金支給、昇給・昇格、資格手当

【募集の概要】

計画届の受付期間 ● 令和2年6月29日(月)~令和2年9月30日(水) (当日消印有効)

計画の認定 ● 令和2年10月中を予定 (令和2年11月以降の制度導入を計画してください。)

対象者 ● 福井県内に事業所を有する中小企業者等

- 資本金3億円以下または従業員数300人以下の事業者
- 企業組合、協同組合、社会福祉法人、学校法人等を含む

支給額 ● 20万円/社 ただし1社1回限り (予算の範囲内での交付となります)

支給の要件 ● 資格等の取得を奨励・支援する社内規程がなく、今回新たに規程の整備を行うものである
● 要綱第3条に定めた要件をすべて満たしている
● 要綱第6条による制度導入計画の認定を受けている

お問合せ
提出先

〒910-8580 福井県産業労働部労働政策課 産業人材グループ
(住所記載不要) TEL 0776-20-0388 E-mail rousei@pref.fukui.lg.jp

☆要綱・様式等は県労働政策課ホームページでご確認ください

URL <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/rousei/careerup.html>





栄雲堂

顧客の声を拾い、1年を通して来店できる イートインスペースをオープン

1899（明治32）年創業の和菓子製造・販売を手掛ける同店はカンナで削る粗目のかき氷、丁稚ようかん、「若竹®」もなかが有名で、夏場にはかき氷を求めに客が集まります。

そんな同店がこのたび、令和元年度「ふくいの老舗逸品承継発展事業助成金」を活用するなどして1年を通して来店できるよう店舗を改装し、今年2月にリニューアルオープンしました。リニューアル前は店の前に設置されていたアーケードが景観整備のために撤去され、店舗の存在感が薄くなっていたそうです。改装した店舗に対し店主の吉川さんは「やるからにはこだわりました。すべてを業者に任せず、自分の想いを全面的に出しました。面倒なところを楽しんで取り組みました」とこだわりを熱く語ります。色選びをはじめ、店舗の床や装飾の一部などは吉川さん自身で手掛けたそうです。

店舗は赤と黒を基調とした趣のある外観で、遠目で見ても分かりやすいのが印象的で、看板を見てもらうよう、看板横に時計が設置されています。店内に入ると、弁柄色（暗い赤みを帯びた茶色）と黒を基調とした、高級感と落ち着いた雰囲気が出迎えてくれます。天井も黒に統一することで、空間をより広く感じることができます。猛暑となるこの夏に涼みに来てみてはいかがでしょうか。

活用事業：令和元年度ふくいの老舗逸品承継発展事業助成金

ご来店
お待ちしております！

栄雲堂

越前市京町1-1-2
TEL/FAX 0778-22-0326
定休日：月曜日
営業時間：9時～18時30分



本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう！

企業情報メール便

販路開拓のチャンス！
本誌にチラシを同封できます

本誌では、企業情報メール便（チラシ同封サービス）を毎号実施いたします。配送先は、県内事業所約1,700社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか？



●次回実施号

VOL.43 9月25日発行予定

チラシ提出締切日：9月18日

チラシ1,700部をご提出
(持参または配送) 願います。

○料 金

同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税抜)
A 4判以下のチラシ	6,000円
A 4判超～A 3判以下のチラシ (二つ折にしてA 4判以下のサイズにすること)	9,000円
A 4判以下のパンフレット (10ページ程度まで)	12,000円

※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。
1号につき約10社まで受け付けます。

なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター 総務部 F-ACT担当
TEL:0776-67-7414 e-mail:kouhou-g@fisc.jp

福井県からのお知らせ

令和2年度の個人事業税の納税通知書は9月10日以降に届きます。第1期分の納期限は9月30日です。

※第2期分は11月に納付通知書が届きます。
(納期限は11月30日)

コンビニ等で納付

金融機関の窓口の他に、お近くのコンビニにおいて、現金で納めることができます。

※コンビニでの納付は税額30万円以下のみが可能です。

新型コロナウイルスの影響により 収入が減少し、納税が困難な方

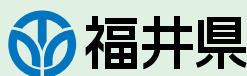
徴収の猶予の特例を受けることが出来る場合がありますので、
お問合せください。

福井県 徴収猶予

検 索

お問い合わせ先

福井県税事務所 0776(21)8271
嶺南振興局税務部 0770(56)2223



本誌に関するお問い合わせは



公益財団法人 ふくい産業支援センター <https://www.fisc.jp/>

総務部 TEL 0776-67-7414/FAX 0776-67-7419/E-mail: kouhou-g@fisc.jp
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

皆様の
声を
お聞かせください!!

「〇〇が面白かった、ためになった」、
「△△をもう少し□□にしたらどうか」、
「●●のテーマについて紹介して欲しい」、
「▲▲会社がやっている■ ■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様のご意見をお待ちしております。

編集後記

こんにちは！最後まで読んでいただきありがとうございます。今年は新型コロナウイルスの影響で4月に取材ができず、5月号発刊を断念しました。しかし、取材ができなかった期間を充電期間として、去年できなかった取材件数とデザイン面のアップグレードをしました！より多くの企業様を紹介できればと思っています。また、デザインにつきましては前回号と比べてどこが変わったかも見ていただけると嬉しいです。

さて、今回の特集は「なんとしても窮地を生き抜く！～withコロナの企業戦略～」をテーマに組ませていただきました。取材してみて、新型コロナウイルスが与える影響の大きさを痛感しました。

また、経営者の苦労話にも胸を打たれました。ある経営者によると、一今回はお金を借りやすい制度があるからまだまし。本当に辛かったのはお金がどうしても無い時だった一経験の凄さに言葉を失いました。次号は9月25日発刊です。

好評配信中!!

あなたの暮らしに“つかえる”アプリ

福邦銀行 公式スマホアプリ

FUKUHO パーク
ふくほう Park

POINT
1

べんり!

福井のトレンド情報配信!

月刊URALA編集!
暮らしに役立つ情報をお届け。

POINT
3

かんたん!

残高・明細照会も
スマホで!

口座残高と入金明細を
スマホから24時間確認OK!

POINT
2

おトク!

地域のお店の
クーポン配信!

アプリ限定のクーポンを多数掲載!
お気に入り、検索機能でとっても便利に。

さらに!

オトクな情報を
プッシュ通知で
お届け!



口座がなくても **無料** で使える!!

登録不要で、今すぐご利用いただけます。



ふくほう
Park

今すぐダウンロード!

ふくほうパーク

検索

iPhoneの方

Download on the
App Store



Androidの方

GET IT ON
Google Play



※残高・明細照会には、口座の登録が必要です。
※Android、Google playおよびGoogle playロゴは、Google LLC.の商標です。Apple、Appleロゴ、およびiPhoneは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
※推奨機種はiOS9.0以上 (iPhone5sおよびiPhone6以降の端末) およびAndroid5.0以上となります。docomo、au、softbankから発売された端末が対象となり、タブレットは推奨環境ではありません。お使いのOS・機種が対応可能かは当行ホームページにてご確認ください。
※本アプリは無料でご利用いただけますが、アプリのダウンロードやご利用にかかる通信料はお客様のご負担となります。詳しくは、福邦銀行のホームページをご確認ください。